

教育のページ

プロに学び精度向上

プログラミング コンテスト前に 上富田中パソコン部

上富田町岩田、上富田中学校のパソコン部はこのほど、第一回U-16プログラミングコンテスト和歌山大会(田辺工業高校主催)を前に、プロのエンジニアを講師に迎えて対戦型ゲームのプログラミング作業を行った。

県が高度なプログラミング教育を提供する「きのくにICT(情報通信技術)教育」

事業として実施。中学校と高校の部活動にエンジニアを派遣している。上富田中へは、和歌山市の「オールエックスラボ」代表取締役の畠中和彦さん(47)を派遣しており、2回目の来校となった。

午後4時から始まった部活動で、部員たちは個々にパソコンに向かい、黙々とプログラミング作業を続けた。途中、

分からない点を畠中さんに教えてもらうとともに、部員同士でも気軽に相談し、教え合っただけでプログラミングの精度を高めた。大会までは微調整を繰り返す。

大会では、碁盤目フィールドの上で参加者が作成したプログラム同士を戦わせる。

長矢拓将君(3年)は「プログラミングは楽しい。センスと考え方で可能性が広がる。優勝できたらいいなと思う」と話した。部長の赤松観音さん(2年)は「大会前にプロの方に分からない点を丁寧に教えてもらってよかった」と喜んでいった。

畠中さんは「みんな動が良く吸収が早い。将来が楽しみ」と目を細めた。

大会は8日、田辺市あけぼのにある田辺工業高校で開かれる。上富田、東陽、白浜の3中学校から18人が出場する予定。



畠中和彦さん(手前左から2人目)のアドバイスを受けながらプログラミング作業をする部員—上富田町岩田で